



2026年6月12日

各位

会社名 株式会社はてな
代表者名 代表取締役社長 栗栖 義臣
(コード: 3930、東証グロース)
問合せ先 コーポレート本部長 田中 慎樹
(TEL. 03-6434-1286)

特別損失及び繰延税金資産の計上、並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年7月期第3四半期会計期間において、特別損失、繰延税金資産をそれぞれ計上し、2026年6月12日開催の取締役会において、2025年9月12日に公表した「2025年7月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載している2026年7月期の業績予想(2025年8月1日～2026年7月31日)を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2026年4月24日付「資金流出事案の発生に関するお知らせ」で公表いたしました事案につきまして、流出金額の精査が完了し、現時点における被害の最大額である1,179百万円を、資金流出事案に伴う損失(特別損失)として計上することといたしました。なお、現在も関係金融機関等と連携し回収措置を講じている段階であり、今後回収額が確定次第、特別利益として計上する予定です。

なお、2026年5月7日付「特別調査委員会設置に関するお知らせ」で公表いたしました特別調査委員会による調査は現在も継続中であり、調査報告書の受領時期については現時点で確定しておりませんが、今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 繰延税金資産の計上について

今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討し、2026年7月期第3四半期累計期間において、繰延税金資産の計上等により、法人税等として△357百万円(△は利益)を計上することとしました。

3. 当期の業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,859	百万円 136	百万円 146	百万円 101	円 銭 34.04
今回修正予想(B)	3,640	113	90	△767	△256.50
増減額(B-A)	△219	△23	△56	△868	—
増減率(%)	△5.7%	△17.1%	△38.3%	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年7月期)	3,794	339	339	230	77.61

4. 修正の理由

売上高につきましては、コンテンツマーケティングサービス全体として一部の個別案件において広告・マーケティング予算が縮減されたことにより厳しい販売環境となり継続的な受注に至らなかったこと、特にオウンドメディア編集受託において、生成 AI の台頭により安価で多量の記事が量産できるようになったことなどの影響により新規獲得が難航したこと、コンテンツプラットフォームサービスにおいて、協議中である生成 AI ベンダーとの取り組みについて、想定よりも進捗が遅れていることなどから、前回発表予想を下回る見込みとなっております。

一方、営業費用につきましては、人員配置の効率化を行い、新規採用を抑制したことで人員増加数のペースが緩やかとなり、人件費が想定を下回る見込みです。この他、減益予想に合わせた全社的なコスト意識の向上等により、経費全般についても想定を下回る見込みです。以上のことから、営業費用は前回発表予想を下回る見込みとなっております。

また、2026年4月14日付「記念株主優待に関するお知らせ」で公表いたしました上場10周年記念株主優待の実施に伴う費用を、営業外費用へ計上する見込みです。

特別損失につきましては、上記1. に記載の資金流出事案に伴う損失に加え、特別調査委員会による調査費用等についても、60百万円を特別損失へ計上する見込みです。また、上記2. に記載の通り、繰延税金資産による影響も反映しております。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見込みとなったため、通期業績予想を修正するものであります。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上